

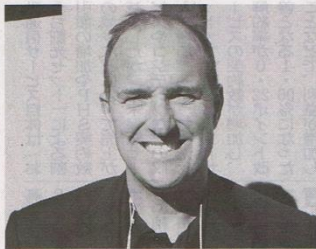
通信興業新聞

通信興業新聞社

発行所 東京都中央区銀座7-3-13  
 発行人 小野 豊 男  
 編集長 小野 豊 男  
 電話 (03) 3572-4488 (代)  
 F A X (03) 3572-4886  
 振替口座 00170-6-100661

2016年(平成28年)11月14日(月曜日) (4)

## シリーズ 進化するテレコム市場 「NetEvents 2016 USA」から



トム・ラマー 副社長



「ドローンボックス」

### H3ダイナミクス

シンガポールに本社を置くH3ダイナミクス社は、クラウドロボティクスの世界的リーダーとして急速に頭角を現しつつある。今回の「NetEvents 2016 USA」の中で先進的なIoTとクラウドベンタを表現する「IoT & クラウドロボティクス」の最終候補者に選定された。

H3ダイナミクスの「H3」は、①ホライズンハイドローン(水素)事業②エネルギー事業③同アマゾン(無人)事業④ドローンボックス事業⑤同アウェアネス(認識技術)システム事業の3つの事業領域を意味している。今回の表彰は、同社のドローンボックス製品に対する市場の評価が高いことによるもので、ネットイベントのメ

## クラウドで運行監視 ドローンボックスに商機

### ドローンボックスに商機

分析ソフトウェアソリューションまで、幅広い顧客を手掛けていることが顧客に高く評価されている。H3ダイナミクスは9月にインテルIoTソリューション・アライアンスに参加した。シンガポールで設計・製造されているドローンボックスは、ドローンと産業用IoTをつなぐ自己駆動式のドローン導入ソリューション。H3ダイナミクスはこのクラウドボックスを初めて大規模に、日本でも展開できる。ドローンのプラットフォームをグローバルから世界へと貫き、市場で迅速に実現できるビジネスチャンスを生み出される。今、この機会を捉え、高度なリアルタイムコミュニケーション技術と自律型ドローン導入技術を提供している。一方、VRJは農業、建設、提供するための新たな事業領域に産業用IoT、セキュリティ、災害救助、遠隔医療支援など、多数の用途向けに完全自律型ドローンの導入ソリューションを提供する計画。回、主要テレコム関連企業を立ち上げ、H3ダイナミクスを支援する「ネットイノベーション」に参加した背景に、IoTおよびクラウドビジネスを加速するのビジネスチャンスが、通信用キャリアとメーカーに限らず、H3ダイナミクスのような規模な太陽光発電所、鉄道の化学工場、道路事故のたエネルギー事業をコアコンピタンスとする企業にとっても最大のチャンスとなる。VRJは、ウェビナー、カンファレンス、セミナーの開催を通じて、15年10月に設立したIoT/センサー/4G/LTE/クラウド/ロボティクスは、全産業分野の経営改革に先導するテレロボティクスとして重要なテーマといえる。サービスプロバイダを目指す。

ディアセクションで同社のエナ技術が当社の強みだ。トム・ラマー・ケローバルとくに産業用でインターネットにおける機能拡大に傾注していく。当社はロボティクスのハードウェアとソフトウェアを統合したフルスタック企業として、無人システムも無人センサーに活用される先進的なエネルギー貯蔵システムから、ネットワーク接続したロボット車間、IoT、成果重視の動向を重視している。ハイブリッド電力技術を利用し、電力網から独立して運用できるため、人里離れた遠隔場所など、配備する場所を選ばず、オンデマンドで操作できる。したがって、災害対策、社会インフラや大規模工場などの保守・点検向けのドローンサービスが提供可能だ。H3ダイナミクスはこのクラウドボックスを初めて大規模に、日本でも展開できる。ドローンのプラットフォームをグローバルから世界へと貫き、市場で迅速に実現できるビジネスチャンスを生み出される。今、この機会を捉え、高度なリアルタイムコミュニケーション技術と自律型ドローン導入技術を提供している。一方、VRJは農業、建設、提供するための新たな事業領域に産業用IoT、セキュリティ、災害救助、遠隔医療支援など、多数の用途向けに完全自律型ドローンの導入ソリューションを提供する計画。回、主要テレコム関連企業を立ち上げ、H3ダイナミクスを支援する「ネットイノベーション」に参加した背景に、IoTおよびクラウドビジネスを加速するのビジネスチャンスが、通信用キャリアとメーカーに限らず、H3ダイナミクスのような規模な太陽光発電所、鉄道の化学工場、道路事故のたエネルギー事業をコアコンピタンスとする企業にとっても最大のチャンスとなる。VRJは、ウェビナー、カンファレンス、セミナーの開催を通じて、15年10月に設立したIoT/センサー/4G/LTE/クラウド/ロボティクスは、全産業分野の経営改革に先導するテレロボティクスとして重要なテーマといえる。サービスプロバイダを目指す。